

新学術領域研究

「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて： 関係性中心の融合型人文社会科学の確立」 (略称:「グローバル関係学」)

第三回若手研究者報告会(2019年) 報告者募集のご案内(Call for Papers)



日時: 2019年12月21・22日(土)(日)

場所: 千葉大学柏の葉キャンパス

環境健康フィールド科学センター シーズホール

(千葉県柏市柏の葉6丁目2-1、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅下車徒歩5分)

応募締切

2019年

10月7日

本新学術領域事業「グローバル関係学」は、平成28年度より、千葉大学、東京外国語大学、立命館大学などの社会科学、人文科学の最先端の学者を結集して、「グローバル関係学」という新たな研究領域の確立を目指して研究を進めています。

「グローバル関係学」は、現在、中東やアフリカ、アジアや南東欧など、世界各地で発生する紛争、対立といったグローバルな危機が、情報や思想、モノやカネ、人の移動のグローバル化などによってさまざまな関係性が複雑に絡み合い生じていると考えます。20世紀的社会科学、人文科学の枠組みをもってしてはこうした「新しい危機」ともいえる事象を十分に分析できないと考え、本「グローバル関係学」のプロジェクトが立ち上げられました。

詳しくは、「グローバル関係学」のウェブサイト、およびそこで展開されている議論をご覧ください。

「グローバル関係学」事業では、同種の問題意識や研究方向性を持つ若手研究者のプロジェクト外からのさらなる参画を積極的に進めています。その一環として、毎年、プロジェクト外の研究者に広く研究報告を求める「グローバル関係学若手研究者報告会」を実施しています。

第一回報告会(2018年2月早稲田大学)、第二回報告会(2018年12月京都大学)に引き続き、第三回報告会は、千葉大学にて開催します。関係性に注目してグローバルな危機の解明、分析に取り組む画期的な若手研究者による報告を、社会科学、人文科学、自然科学の分野を問わず、幅広く求めます。

ぜひ積極的にご応募ください。

応募要項

報告会で報告を希望する方は、**2019年10月7日(月) までに**下記①～③を記載の上、

<https://forms.gle/eF9v7rTUmkkQhuYt6> からお申込みください。

①報告タイトル

②報告要旨(500～800字)

③報告者のお名前・所属・肩書・開催日時点での年齢

*原則として両日参加いただくようにお願いします。

*報告者には旅費(原則1泊分、交通費を含む)を支給できます(100キロ圏内は不支給)

*応募者は**45歳以下**であること、および「グローバル関係学」の学問的趣旨を理解しその学術領域確立に貢献しうるとみなされる者として。

「グローバル関係学」ホームページ <http://www.shd.chiba-u.jp/glblcrss/outline/index.html>



国立大学法人千葉大学
CHIBA UNIVERSITY

担当: 新学術領域研究「グローバル関係学」若手育成委員会